

令和5年度
福島町議会
定例会2月会議

令和6年2月14日（水）

諸般の報告
(第1号)

福島町議会

1 提出された案件

(1) 町長提出案件

- 議案第53号 福島町手数料徴収条例の一部を改正する条例
議案第54号 第6次福島町総合計画の策定について
議案第55号 種苗生産等施設建築主体工事請負契約の議決更正について
議案第56号 種苗生産等施設電気設備工事請負契約の議決更正について
議案第57号 種苗生産等施設機械設備工事請負契約の議決更正について
議案第58号 吉岡温泉建設工事の内建築主体工事請負契約の議決更正について
議案第59号 吉岡温泉建設工事の内電気設備工事請負契約の議決更正について
議案第60号 吉岡温泉建設工事の内機械設備工事請負契約の議決更正について
議案第61号 令和5年度福島町一般会計補正予算（第9号）

2 町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	鳴海 清春	副町長	小鹿 一彦
総務課長	住吉 英之	企画課長	村田 洋臣
産業課長	福原 貴之	町民課長兼吉岡支所長兼会計管理者	深山 肇
認定こども園福島保育所園長	吉能 佳織	福祉課長	小鹿 浩二
建設課長	紙谷 一		
教育長	小野寺 則之	事務局長兼給食センター長	石岡 大志
監査委員	本庄屋 誠	監査委員	高田 重美

3 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	鍋谷 浩行	議事係長	福井 理央
主任	角谷 里紗		

4 監査報告

- 1月16日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。（水道事業会計）
1月19日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。

（一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、浄化槽整備特別会計、国民健康保険診療所特別会計）

5 常任委員会の調査報告

- 2月6日 経済福祉常任委員会から所管事務調査の報告があった。
2月8日 総務教育常任委員会から所管事務調査の報告があった。

6 一部事務組合の報告

- 12月28日 佐藤孝男議員から令和5年第2回渡島西部広域事務組合議会臨時会の報告があった。
- 1月30日 平野隆雄議員から令和6年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会定例会の報告があった。

7 議会に関連した諸行事

(令和5年度福島町議会定例会12月第2回会議後、本日まで)

- 12月27日 議会運営委員会（定例会12月第2回会議の反省）
〃 渡島西部広域事務組合議会第2回定例会（議長、関係議員）
- 1月4日 福島消防団出初式（議長ほか）
- 9日 令和6年三者合同新年交礼会・令和5年度表彰受賞等祝賀会（議長ほか）
- 16日 渡島町村議会議長会役員会（議長、函館市）
- 19日 渡島廃棄物処理広域連合議会議会運営委員会（副議長、北斗市）
- 22日 議会運営委員会（議会だより編集）
- 23日 渡島西部四町議会議員連絡協議会第2回理事会（正副議長・議会運営委員長、知内町）
- 24日 経済福祉常任委員会（陸上養殖アワビの進捗状況、横綱ビーチの管理）
- 25日 渡島町村議会議長会定期総会（議長、函館市）
- 29日 渡島廃棄物処理広域連合議会議会全員協議会（関係議員、北斗市）
〃 令和6年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会議会定例会（関係議員、北斗市）
- 30日 福島町町内会連合会総会（議長ほか）
- 31日 総務教育常任委員会（部活動の地域移行、高校の魅力化）
- 2月2日 町民と議員との懇談会（全議員）
- 3日 函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会設立記念シンポジウム（議長ほか）
- 5日 町民と議員との懇談会（全議員）
- 6日 経済福祉常任委員会（岩部地区等活性化構想、昆布省力化検討計画）
〃 町民と議員との懇談会（全議員）
- 7日 町民と議員との懇談会（全議員）
- 8日 渡島西部四町議会議員連絡協議会定期総会・研修会（議長ほか、知内町）
- 9日 町民と議員との懇談会（全議員）
- 13日 町民と議員との懇談会（全議員）
- 14日 議会運営委員会（定例会2月会議の運営）
〃 定例会2月会議

常任委員会の調査報告

令和5年12月12日開催の令和5年度定例会12月会議で決定した休会中の所管事務調査について、各常任委員会から次のとおり所管事務調査報告書の提出があったので、これを報告する。

令和6年2月14日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

1 総務教育常任委員会

- ・調査事件3 部活動の地域移行への取り組み状況について
- ・調査事件5 福島商業高等学校の魅力化について

2 経済福祉常任委員会

- ・調査事件13 アワビ陸上養殖事業の進捗状況について
- ・調査事件15 福島漁港海岸環境施設（横綱ビーチ）の管理について

福 議 委 号
令和 6 年 2 月 8 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

総務教育常任委員会
委員長 藤山 大

所管事務調査報告書の提出について

令和 5 年 1 2 月 1 2 日福島町議会定例会 1 2 月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 1 4 8 条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	3 部活動の地域移行への取り組み状況について	5 福島商業高等学校の魅力化について
調査期間	令和 6 年 1 月 3 1 日	
出席委員	委員長 藤山 大 委員 杉村 志朗 委員 平野 隆雄	副委員長 熊野 茂夫 委員 木村 隆 委員 溝部 幸基
委員外議員	議員 佐藤 孝男 議員 平沼 昌平	議員 小鹿 昭義
出席説明員	町長 鳴海 清春 副町長 小鹿 一彦 教育長 小野寺則之 教育委員会事務局長 石岡 大志 学校教育担当次長 西田 真弓	町長 鳴海 清春 副町長 小鹿 一彦 教育長 小野寺則之 教育委員会事務局長 石岡 大志 建設課長 紙谷 一 学校教育担当次長 西田 真弓
議会事務局職員	事務局長 鍋谷 浩行 主任 角谷 里紗	係長 福井 理央

[委員会意見]

調査事件 3 部活動の地域移行への取り組み状況について

(令和6年1月31日調査)

道教委は、少子化により地域によっては学校単位での部活動の維持が難しくなっていることから、「北海道部活動の地域移行に関する推進計画」を令和5年3月に策定しております。

町では令和5年度教育行政執行方針において教職員、スポーツ少年団の指導者、スポーツ推進委員、教育委員会職員等で協議会を組織し調査・研究するとしており、この度、町より取り組み状況について資料が示されたことから、その内容を調査したので、調査結果を報告する。

【論点とした調査項目・意見】

部活動の地域移行に向けた町の取り組み状況、今後の考え方等については一定の理解をしたが、子ども達が望むクラブ・部活動の環境づくりのためにも次の事項について検討されたい。

1 外部指導者の確保について

部活顧問となっている教職員の負担軽減を図るためにも、外部指導者の活用を検討すべきと考えるが、町内のスポーツ団体、文化団体を対象としたアンケート調査ではスポーツ団体等の団員が指導者として協力することは厳しいという結果になっているが、この度のアンケート対象は団体であり、所属団員の中には、外部指導者として協力してきた経験者もあり、団体に所属していない経験者もおりますので、指導時間の調整等により幅広く協力者を募り体制を整えることも考慮し、改めて、個人を対象にしたアンケート等を行う等人材の掘り起こしを図り、対象を町内に限定せず西部四町の枠組みで探すことで外部指導者確保の可能性が広がると思慮するので検討されたい。

2 渡島西部四町での取り組みについて

現在、経済産業省の補助を受け、渡島西部四町での実証事業を民間業者へ委託しているとのことだが、各町において部活動に対する考え方が異なることや、参加する生徒の数に偏りがあるため費用負担の調整などの課題が想定されている。特に生徒の送迎については、実証事業での調整工夫の成果がみられるが、顧問の教員、保護者の負担となる部分も多く、負担の軽減につながるような取り組みをさらに検討すべきと思慮する。

今回の実証事業で対応した野球やバスケットボールのほかにも、子どもがやりたいけれども賛同する生徒が少なく実施できない種目があると想定されることから、近隣町で連携し情報共有を図りながら、子どもたちの希望に沿ったスポーツ環境が提供できるような体制づくりについても積極的に検討することを期待する。

【委員会意見】

調査事件 5 福島商業高等学校の魅力化について（令和6年1月31日調査）

福島商業高等学校の令和6年度入学選抜に係る第1次出願の受付が1月24日に締め切られたことから、町より、出願状況と青少年交流センターの利用見通し等について資料が示されたことから、その内容を調査したので、調査結果を報告する。

【論点とした調査項目・意見】

福島商業高等学校の第1次出願状況、新潮学舎の増築に係る今後のスケジュール等については一定の理解をする。

願書出願者が29名となり地域連携特例校からも外れることになったことは、これまで高等学校存続のため、町・教育委員会・商業高校(教員・在校生)が一丸となって取り組んできたことが実を結んだ成果であり、関係者全員に感謝するとともに来年度以降も20人以上の入学者を確保できるよう引き続き取り組みを進められたい。

部屋数の不足が見込まれる新潮学舎の増築等にあたっては、次の事項について検討されたい。

1 ゼロカーボンモビリティ事業について

新潮学舎の増築に合わせて計画しているゼロカーボンモビリティ事業については、自然再生エネルギーを活用した脱炭素型社会の推進を図るため、太陽光発電、充放電設備、電気自動車の導入を計画しているが、降雪地帯での屋根への太陽光パネル設置については、冬期間の発電効率低下や堆雪による建物への重量負荷などトラブル発生が懸念されるため、事業を進めるにあたっては関係課や設計業者と十分協議・検討を行い、想定される効果が発揮されるよう努められたい。

2 定住促進住宅としての運用について

新潮学舎の増築にあたり、財源確保のため定住促進住宅用地に整備するという考え方のもと過疎債の対象となる定住促進住宅整備事業として実施することについては理解したが、定住促進住宅として運用していくためには町としても町外から来た生徒たちが福島町に魅力を感じてもらえるような地域教育の取り組みを関係機関と協力しながら構築する必要があるため、町・教育委員会と地元企業等が状況を共有、協力しながら受け入れる体制づくりについて積極的に検討されたい。

福 議 委 号
令和 6 年 2 月 6 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

経済福祉常任委員会
委員長 佐藤 孝男

所管事務調査報告書の提出について

令和5年12月12日福島町議会定例会12月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第148条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	13 アワビ陸上養殖事業の進捗状況について	15 福島漁港海岸環境施設（横綱ビーチ）の管理について
調査期間	令和6年1月24日	
出席委員	委員長 佐藤 孝男 委員 平沼 昌平 委員 溝部 幸基	副委員長 小鹿 昭義 委員 平野 隆雄
委員外議員	議員 藤山 大	
出席説明員	町長 鳴海 清春 産業課長 福原 貴之	副町長 小鹿 一彦 産業課長補佐（水産担当） 石川 秀二
議会事務局職員	事務局長 鍋谷 浩行 会計年度任用職員 熊谷 治子	係長 福井 理央

[委員会意見]

調査事件 13 アワビ陸上養殖事業の進捗状況について

(令和6年1月24日調査)

令和5年度のアワビ陸上養殖事業については、アワビ種苗が当初見込んでいたサイズまで成長せず、計画していた数量を出荷できない状況となり、さらに、購入予定していたアワビ種苗が病気(筋委縮症)により確保できない事態となるなど、今後の計画の見直しを余儀なくされている状況にあり、このたび、町より養殖事業の進捗状況と今後の方向性について資料が示されたことから、内容を調査したので、調査結果を次のとおり報告する。

【論点とした調査項目・意見】

町より示された今後の種苗確保等に係る方向性については一定の理解をしたが、アワビカレーなどは当町の新たな特産品として定着してきている状況でもあり、関係機関と連携を取りながら対応を進めるとともに、次の事項について検討されたい。

1 アワビ陸上養殖事業の今後の方向性について

(1) 生産計画について

今後の生産計画では、栽培公社熊石事業所の種苗生産が再開されるまで、檜山管内への販売実績がある岩手県の民間業者から種苗を購入することとしているが、購入する種苗のサイズがこれまでより大きい(30ミリ)ことや、道外との水温等の違い、飼育手法の相違など、これまでのデータが通用しないことも想定される。種苗の斃死率を抑制するためにも給餌・管理方法等について、関係機関や元水産アドバイザーと連携を図り慎重に対応されるよう望む。

町養殖施設においても、栽培公社の病気発生要因、種苗の成長不調要因について分析を行い、安定的な生産体制を確保する必要な対策を検討されたい。

生産見込みにおける種苗の斃死数(斃死率)については、これまでの実績から種苗全体の1割程度で成長につれて斃死率は下がっていくとの説明だが、掲載数値に差異があり、計画数値は一定の基準に沿って計上するべきと思慮するので検討されたい。

(2) 販売計画について

事業を継続するため道外から種苗を購入することは理解するが、今回の対応によって事業費が増加しても販売価格を上げないという町の考えについては、一連の事業効果は評価するが、現状の事業収支を考えると今後も事業を継続していくためにも費用増加分を販売価格へ転嫁することも考慮すべきであり、町の事業遂行には、事業の実質収支を明確に提示し情報共有することも重要であると思慮する。

[委員会意見]

調査事件 15 福島漁港海岸環境施設（横綱ビーチ）の管理について （令和6年1月24日調査）

福島漁港海岸環境施設「横綱ビーチ」の管理については、令和4年9月28日開催の当委員会において調査を行った際、監視体制等への懸念と、管理業務マニュアル整備の必要性について意見を提出しておりますが、前回調査から1年以上経過したこともあり、このたび、懸念された点の対応状況等について調査したので、調査結果を次のとおり報告する。

【論点とした調査項目・意見】

町より示された管理状況等については一定の理解をしたが、次の事項について検討されたい。

1 横綱ビーチの監視体制について

横綱ビーチの管理について、前回指摘した内容のうち水域清掃、海浜調整等の施設維持について対応・改善されたことについては評価する。

しかし、監視体制については、前回指摘した救急救命講習受講への対応等改善されておらず、講師の都合による講習の中止があったとしても、前回と同様2名しか受講経験がない状況は、不測の事態に際して対応できるのか懸念される。新たな要素も含め毎年受講すべきものであり、次年度の業務委託に当たっては、従事者への独自救急救命講習を実施するか、毎年5月に町民プールで開催される日赤による救急救命講習の受講を確約させる等の対策を検討されたい。

少子高齢化が進む町内で新たな監視員の確保が困難で、監視員が高齢化している現状は一定の理解をするが、事故等へ対処する監視体制の維持は、管理者の責務であり、特に利用者が多い土日の監視体制を万全にしていくためには、高校生に協力（アルバイト）をお願いすることや、土日のみ消防署等に協力を依頼するといった方法もあるのではないかと思慮するので検討されたい。

渡島西部広域事務組合議会の報告

渡島西部広域事務組合議会議員より、12月27日開催の令和5年第2回臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和6年2月14日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

令和5年渡島西部広域事務組合議会第2回臨時会の 結果について (報告)

令和5年12月28日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島西部広域事務組合議会議員
報告者 佐藤 孝男

令和5年12月27日に開催された、令和5年渡島西部広域事務組合議会第2回臨時会の結果を報告します。

1 臨時会の内容について

審議した議案は、補正予算(第4号)の1件でした。

2 行政報告の内容について

衛生関係1件、消防関係1件の行政報告がありました。

(1) 衛生関係について

①リサイクルプラザ施設の復旧及びごみ処理について

リサイクルプラザ施設の復旧について、被災した破砕物搬送コンベアを復旧するほか、リチウムイオン電池等の発火に対応するため、カメラ及び消火設備を設置することとしており、3月下旬までに復旧する見込みであります。

ごみ処理については、渡島総合振興局担当課と協議した結果、不燃ごみ等を最終処分場に一時保管することで了承いただき、施設の復旧後に処理していくこととし、5月中にはすべて処理できる見込みです。

なお、再発防止に向けた取り組みとして、委託業者に対しリチウムイオン電池の除去の徹底を再度、強く要請しております。

また、令和6年4月からは、各町の窓口でリチウムイオン電池の回収を実施することとし、当組合及び構成町の広報を通じて、町民への周知徹底を図ってまいります。

(2) 消防関係について

①行方不明者の捜索について

12月14日(木)に木古内町本町地区において、行方不明者が発生し、木古内消防署及び関係機関により捜索が開始され、同日中に木古内町役場職員により無事発見され、救急車にて医療機関に搬送されております。

3 審議した議案の内容

件名	内容
議案第1号 令和5年度渡島西部広域事務組合一般会計補正予算(第4号) 【原案可決】	リサイクルプラザ施設火災に伴う修繕費の追加補正をしました。 補正額 2,910万1千円追加 予算総額 16億3,445万3千円

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますので、ご参照ください。

渡島廃棄物処理広域連合議会の報告

渡島廃棄物処理広域連合議会議員より1月29日開催の令和6年第1回定例会の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和6年2月14日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

令和6年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会定例会の結果について (報告)

令和6年1月30日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島廃棄物処理広域連合議会議員
報告者 平野 隆雄

令和6年1月29日に開催された、令和6年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会定例会の結果を報告します。

1 定例会の議案について

審議した議案は、令和6年度一般会計予算と補正予算(第2号)の計2件でした。

2 行政報告について

令和5年度ごみの排出・処理量、また、設備点検等について報告がありました。

(1) 令和5年度12月までのごみ排出・処理量の状況について

12月までのごみの排出量は22,280 t、また、焼却処理量は23,737 tとなりました。

(2) 今年度の設備点検等について

1号炉と2号炉の設備点検については、それぞれ休炉期間を設け、3回目の点検整備を実施しました。

- ・ 1号炉の点検整備 ～ 11月19日～12月8日 (20日間)
- ・ 2号炉の点検整備 ～ 11月18日～12月3日 (16日間)

(3) ごみ運搬車両の事故について

12月12日、リレーポート渡島西部のごみ運搬車両が、知内町の国道でタイヤの脱落事故を引き起こしてしまいました。

第三者の人身、損害被害には至りませんでした。再発防止に万全を期して参りたいと存じております。

3 審議した議案の内容について

件 名	内 容
議案第1号 令和6年度渡島廃棄物処理広域連合 一般会計予算について 【原案可決】	令和6年度当初予算を、14億4,232万8千円と決めました。 ・前年度予算比 5,017万1千円の減額 ・減額の主な要因 焼却施設・中継施設の点検整備費が、前年度と比べ減少したため
議案第2号 令和5年度渡島廃棄物処理広域連合 一般会計補正予算(第2号)について 【原案可決】	前年度繰越金3,435万2千円を施設維持運営基金に積み立て等で、予算総額を14億9,680万8千円としました。

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますので、ご参照ください。